

報道関係者各位

the 3rd Area of “C” –3 つめのミュージアム–

the 3rd Area of “C”
オンライン展覧会
Online Exhibition

–3 つめのミュージアム–

ウェブサイト新しく「the 3rd Area of “C” –3 つめのミュージアム–」をオープンします。

“C”とは、当館のこと。建物を上から見るとアルファベットの「C」の形をしていることにちなんでいます。そして「the 3rd Area(3 番目の場所)」には、館内の事業、外部の会場で行うアウトリーチ活動に続く、3 つめのミュージアムの活動の場(エリア)になるという思いをこめました。

令和元年東日本台風により被災し、ご来館いただけない状況が続いていますが、収蔵品や川崎市ゆかりの作家の作品などご覧いただくことは当館の使命のひとつと考えています。オンラインでの活動を通して、多くの方が文化芸術に親しむ機会を作ることができたら幸いです。

- 2021年度ラインナップ
12月から来年3月にかけて、3つの展覧会を行います。作品が展示されている会場の様子を撮影したものではなく、ウェブサイト会場とともえ、お使いの端末画面上で展示内容をご覧いただく形式の展覧会です。【無料】
- Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘
2021年12月23日(木)10:00～2022年3月31日(木)16:00
- 漫画の元祖? 明治ポンチ本とはナニモノだ! ?
2021年12月23日(木)10:00～2022年3月31日(木)16:00
- アトリエ指導員展 市野 悠 / 二井矢 春菜
2022年2月1日(火)10:00～3月31日(木)16:00
- <https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/>

川崎市民ミュージアム
TEL: 044-754-4500 FAX: 044-754-4533

文化施設中継放送局・江崎放送局制作

川崎市民ミュージアムは、ウェブサイト内に新しく「the 3rd Area of “C” –3 つめのミュージアム–」をオープンし、オンラインでの展覧会を開催します。

2021年度は3つの展覧会を行います。12月23日(木)10時より、2名の写真作家による「Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘」と、題名に「ポンチ」という言葉が入った子供向けの小型本「明治ポンチ本」の魅力を紹介する「漫画の元祖? 明治ポンチ本とはナニモノだ! ?」を公開します。また、2022年2月1日(火)10時より、当館のアトリエにて指導員を務めていた作家の二人展「第7回アトリエ指導員展『想起される風景』市野 悠 二井矢 春菜」を公開します。申込不要、無料でご覧いただけます。

「the 3rd Area of “C” –3 つめのミュージアム–」 ページ URL

<https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/>

2021 年度ラインナップ

Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘

2021 年 12 月 23 日（木）10:00 ～ 2022 年 3 月 31 日（木）16:00

ふとした瞬間に思いがけず出会った名もなき空間、人知れず淘汰と繁殖を繰り返す河川敷の植生—池田葉子と小山貢弘は、意識と無意識のはざまにある覚束ない世界や、人知の及ばない形態の変容に関心を寄せて写真作品を制作しています。

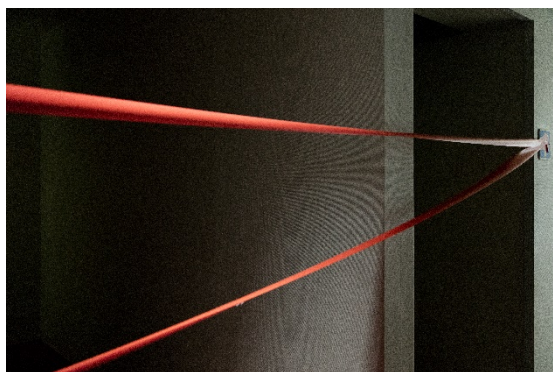
このたび、作家が本展のために写真を撮り下ろしました。人々の痕跡が幾重にも重なる建築や、空に向けて枝葉を広げる草木といった、もの言わぬ存在へ向けられた作家の眼差しをご紹介します。

見どころ

池田葉子氏は、休館中である川崎市市民ミュージアムの建物内部を、約 5 ヶ月間という時間をかけて撮影。作家ならではの視点で様々な場所を写し出し、独自の世界を表現しました。

小山貢弘氏は、自身の制作テーマとして取り組み続けている河川敷をモチーフに、今回はミュージアムが所在する中原区等々力の多摩川河川敷の植生を撮影。大型フィルムカメラで撮影するという作家のスタイルに則りながら制作しました。

2名の作家による撮り下ろし作品、計 39 点を鑑賞できるほか、作家へのインタビュー記事もご覧いただけます。



池田 葉子 《June_3455》2021 年



小山 貢弘 《川崎市中原区等々力》2021 年

池田 葉子 Yoko Ikeda

1965 年、石川県生まれ。東京総合写真専門学校研究科修了後、国内外で活動を行う。

主な個展に「Monkey Puzzle」（2016 年、IBASHO、ベルギー）、「combine and resonate」（2019 年、鎌倉画廊）。第 32 回写真の町東川賞新人賞（2016 年）、第 1 回 Photo Basel ALPA AWARD（2018 年、スイス）受賞。

小山 貢弘 Mitsuhiro Koyama

1980 年、東京都生まれ。東京総合写真専門学校研究科修了後、河川敷をテーマに作品制作を行う。

主な個展に「Botanical Gardens」（2014 年、gallery mestalla）、「芽吹きの方法」（2021 年、Alt_Medium）。

漫画の元祖？明治ポンチ本とはナニモノだ！？

2021 年 12 月 23 日（木） 10:00 ～ 2022 年 3 月 31 日（木） 16:00

日清・日露戦争の間にあたる明治 30 年代、タイトルに「ポンチ」という言葉が入った子供向けの小型本「明治ポンチ本」の出版ブームが起きました。当時沢山の本が作られたのですが、安価で質の低い出版物だったため読み捨てられ、その存在は長い間忘れられていました。

近年研究が進められ、最初期の子供向けの漫画の本であることや、一冊を丸ごと使った長い物語が描かれていることなど、漫画史の上での重要性が注目され始めています。

本展ではデジタル化された明治ポンチ本と、近接する明治期の漫画や印刷文化資料を紹介し、その魅力と歴史的価値を再発見します。

見どころ

川崎市市民ミュージアムが収蔵する明治ポンチ本を中心に、それを取りまく出版文化や漫画の歴史を詳しく解説。また、16 冊のポンチ本をブラウザ上で全ページ読むこともできます。展覧会をご覧いただいた最後には、画像をダウンロードして紙に印刷し、ご覧いただいた方が自身で明治ポンチ本の製本に挑戦できるページもご用意しております。



皆川 金太郎「ヨクバリポンチ第二号(表紙)」

1898(明治 31)年 8 月 川崎市市民ミュージアム蔵



鎌田 在明「新版カツパツポンチ(1 ページ)」

1898(明治 31)年 8 月 川崎市市民ミュージアム蔵

協力 学習院大学 人文科学研究科 身体表象文化学専攻

第7回アトリエ指導員展「想起される風景」市野 悠 二井矢 春菜

2022年2月1日（火）10:00～3月31日（木）16:00

川崎市市民ミュージアムのアトリエにて版画の指導員を務めていた、市野悠と二井矢春菜の二人展を開催します。

古い写真をもとに同じ場所へ行き、その体験をモチーフとした石版画や立体作品を制作する市野、身近な自然との出会いから生まれる小さな喜びをモチーフとし、シルクスクリーン作品を制作する二井矢。両作家の作品に加えて、インタビューや制作風景を収めた映像などもあわせて紹介します。

見どころ

大気のうねりや水面に反射する光のきらめきなどの細やかな描写が特徴の市野氏。花や鳥など、身近な自然を温かみのある線と色使いで表現する二井矢氏。二人とも風景をモチーフとしている点は共通していますが、それぞれの作品は異なる魅力を持っています。

本展では版画作品を中心に計40点を紹介。ほかにも、川崎市市民ミュージアムの館内に作品を展示し、撮影した映像も公開。また、本展の開催に合わせ、川崎市市民ミュージアムのオンラインショップで展覧会カタログを販売します。（カタログについての詳細は、追って川崎市市民ミュージアムのHPでお知らせします）



市野 悠 《山を越える》
2020年 石版画



二井矢 春菜 《綿毛の季節》
2021年 シルクスクリーン

市野 悠 Yu Ichino

1985年、神奈川県生まれ。2014年、東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業。

主な個展に「皮膜を泳ぐ」（2019年、GALLERY MoMo Ryogoku）、「色の棲みか」（2019年、switch point）。ほかグループ展に多数参加。主な賞歴に2013年第9回CWAJ ヤング・プリントメーカー賞、2017年第10回高知国際版画トリエンナーレ佳作受賞。

二井矢 春菜 Haruna Niiya

1993年、広島県生まれ。2017年、東京造形大学大学院造形研究科美術研究領域絵画専攻修了。

主な個展に「草いさけの中で」（2017年、文房堂 Gallery Cafe）、「二井矢春菜展」（2020年、コトノハ贈りもの店 / ノノフルールデザイン一級建築士事務所）。主な賞歴に、2017年第41回全国大学版画展収蔵賞/観客賞受賞。2021年アワガミ国際ミニプリント展2021賞候補入選。

「the 3rd Area of “C” – 3 つめのミュージアム –」

川崎市市民ミュージアムの HP 内に、オンライン上での展覧会をご覧いただける「the 3rd Area of “C” – 3 つめのミュージアム –」を新設しました。作品が展示されている会場の様子を撮影したのではなく、ウェブサイト内を会場ととらえ、お使いの端末画面上で展示内容をご覧いただく形式の展覧会を行います。

“C”とは、川崎市市民ミュージアムのこと。建物を上から見るとアルファベットの「C」の形をしていることにちなんでいます。そして「the 3rd Area (3 番目の場所)」には、館内の事業、外部の会場で行うアウトリーチ活動に続き、3 つめのミュージアムの活動の場(エリア)になるという思いをこめました。

当館は令和元年東日本台風により被災し、来館いただけない状況が続いていますが、収蔵品や川崎市ゆかりの作家の作品などをご覧いただくことは当館の使命のひとつと考えています。オンラインでの活動を通して、多くの方が文化芸術に親しむ機会を作ることができたら幸いです。

【概要】

URL : <https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/> 料金：無料

「Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘」

配信期間：2021 年 12 月 23 日（木）10:00 ～ 2022 年 3 月 31 日（木）16:00

「漫画の元祖？明治ポンチ本とはナニモノだ！？」

配信期間：2021 年 12 月 23 日（木）10:00 ～ 2022 年 3 月 31 日（木）16:00

「第 7 回アトリエ指導員展『想起される風景』市野 悠 二井矢 春菜」

配信期間：2022 年 2 月 1 日（火）10:00 ～ 2022 年 3 月 31 日（木）16:00

広報用画像

画像の使用を希望される方は、川崎市市民ミュージアム広報担当宛にご連絡ください。

■素材使用に関して

- ・今回ご提供する素材の使用は、本展覧会を紹介していただける場合に限りです。展覧会終了後の使用は一切できません。
- ・本プレスリリース内にある画像素材は全てご提供可能です。お気軽に広報担当宛にご連絡ください。
- ・トリミング・切り抜きなど画像の加工はご遠慮いただき、キャプション等の文字が画像に被らないようにご配慮ください。
- ・画像を使用する際は、キャプションを必ずご記載ください。

■チラシ画像、ロゴマーク画像を使用する際は、キャプションは不要です。



【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム（施設休館中） 総務・広報部門 竹本

TEL : 044-754-4500 (受付：月～土《祝祭日を含む》9:00～17:00 ※12/28～1/3の間はお問い合わせ対応を休止いたします) FAX : 044-754-4533

MAIL : pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP : <https://www.kawasaki-museum.jp/> * 指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体